

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

原発性アルドステロン症の臨床的特徴、及び本態性高血圧との違いについて

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 腎臓高血圧内分泌内科（研究責任者）阿部 雅紀

＜研究期間＞

承認日 ～ 西暦 2024 年 3 月 31 日

＜研究の目的と意義＞

原発性アルドステロン症という病気は副腎という臓器からのアルドステロンというホルモンの分泌が多くなってしまいう病気とその頻度は高血圧全体の10%前後を占めると言われています。原発性アルドステロン症にはいくつかの種類があり、それぞれが異なる特徴を持ちます。そこで本研究では原発性アルドステロン症の各病型における特徴や、一般的な高血圧の原因である本態性高血圧との違いについて明らかにすることを目的とします。

＜利用する試料・情報の項目＞

血液検査：GFR、HbA1c、ホルモン負荷試験検査（カプトプリル負荷試験、立位フロセミド負荷検査、生理食塩水負荷検査）、アルドステロン、コルチゾール、レニン、ACTH、尿検査：血尿、蛋白尿、ポータブルポリソムノグラフィ、CT 検査、ABI 検査、心臓・腹部超音波、頸動脈エコーまた入院した患者さまで同意をいただいた患者様に限り、保存させていただいた血液を用いてアルドステロン関連蛋白や non-coding RNA と呼ばれるものを測定します。

＜対象となる患者さん＞

2006 年 1 月から 2024 年 3 月の期間に当院腎臓高血圧内分泌内科で原発性アルドステロン症、本態性高血圧の診断を受けた患者様

＜研究の方法＞

2006年1月から2024年3月までに本施設で原発性アルドステロン症、本態性高血圧と診断された患者様についてそれらの特徴、血液検査データ、画像検査データを収集し統計学的解析を行う。

＜外部への試料・情報の提供等＞

なし

<研究組織>

日本大学医学部腎臓高血圧内分泌内科 部長 阿部雅紀

日本大学医学部附属板橋病院 腎臓高血圧内分泌内科科・研究医員

ジョスリン糖尿病センター、ハーバード大学医学校・リサーチフェロー 氏名 小林洋輝

日本大学医学部附属板橋病院 腎臓高血圧内分泌内科・研究医員 氏名 中村吉宏

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

腎臓高血圧内分泌内科 氏名:阿部 雅紀

電話:03-3972-8111 内線:(医局)8944 (PHS)8046

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)